

みんなの らいふ

前橋市自立支援協議会広報
みんなのらいふ 第41号
発行日 令和8年5月15日

発行元：前橋市自立支援協議会
問い合わせ：前橋市障害福祉課 前橋市自立支援協議会
広報啓発部会 事務局
電話 027-220-5711
FAX 027-223-8856
URL [https://www.city.maebashi.gunma.jp/
kenko_fukushi/4/10/1/11867.html](https://www.city.maebashi.gunma.jp/kenko_fukushi/4/10/1/11867.html)

【題字】三森 英範さん（ピアーズ利用者）

みんなのアーティスト（作品紹介）



題字・作品を募集中

本紙に掲載する題字や作品（イラスト、挿絵等）を募集しています。あなたの作品で本紙に彩をそえていただけませんか。詳しくは事務局（連絡先は表紙に記載してあります）へお気軽にお問い合わせください。

【作者】阿部 クニ江

【作品名】桂荘お花畑

【作品説明】お花紙を指先と手の平で丸め、
季節のものを制作しています。



Myらいふ

よしだ のりよし 作品が、わたしのことば
吉田 徳義さん(71歳)



【プロフィール】

東京都新宿区出身で、学生時代は、陸上競技部部長と絵画部部長を務め、中学2年時には、2,000メートルで区1位を取り、チームを牽引していました。平成8年に脳出血を発症し、右半身麻痺と失語症になりましたが、新宿失語症友の会に入会し、作品作りや訓練等を行っていました。

令和3年に、桂荘に入所し、日中は、週3回程度、クロスステッチや絵のスケッチなど様々な作品を制作したり、美術館巡りをしたりしています。失語症のため、言葉で思うように伝えられませんが、作品や絵で自分を表現しています。

【どんな作品を作るのが好きですか？】

クッションやクロスステッチを作ることが好きです。色合いが綺麗になるように作品を作ることにこだわっていて、布や刺繍糸を選んでいる時や作品を縫っている時は本当に楽しいです。(クロスステッチは布の折り目に沿って×印を並べてデザインする刺繍のこと)



【絵のスケッチもやられているとのことですが、どんな絵を？】

スケッチは、花や動物、風景などなんでも描きます。好きな色や柄は特にありませんが、作品がカラフルになるように工夫しています。スケッチをしている時は、楽しいというよりは落ち着いたような気持ちになります。

【今後作ってみたいものはありますか？】

手芸店に行って、ピンとくるものがあれば作りたいです。クロスステッチをまだまだ続けるつもりです。

【ほかにも作品があるということでみせていただきました！】

チョコレートの包装紙で折った鶴です。
もうすでに数えきれないほど作りました。
食べ過ぎには注意しようと思います・・・



【読者に一言！】

私は、東京都で2回、群馬県で3回作品を展示させていただきました。
これからもずっと作品を作り続けます。ご期待ください！



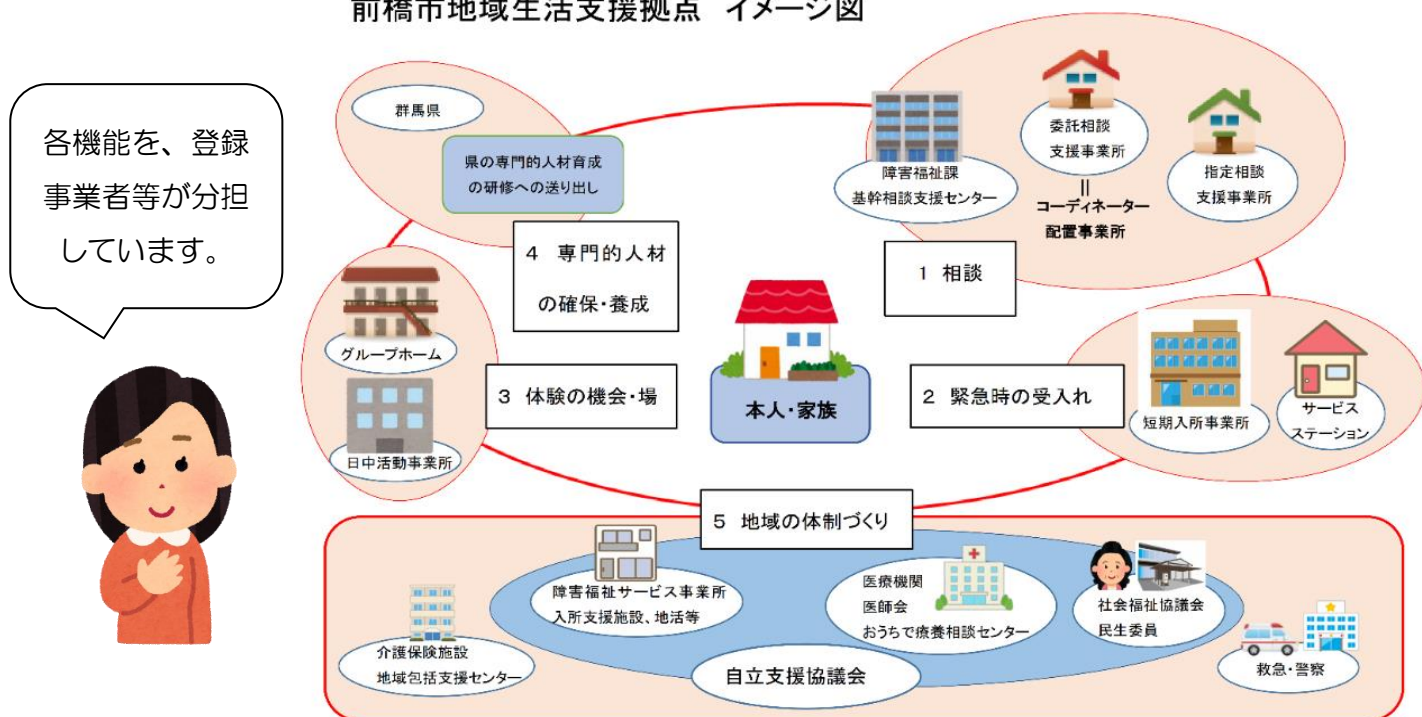
前橋市地域生活支援拠点部会の活動報告

「地域生活支援拠点」とは？

障害のある方の高齢化・重度化や、「親なき後」の生活を見据え、居住支援のための機能を地域の実情に応じた創意工夫により整備し、ご本人の生活を地域全体で支える仕組みです。前橋市では、この事業を「安心ネットまえばし」と名付けました。主な機能として、1.相談、2.緊急時の受入れ・対応、3.体験の機会・場、4.専門的人材の確保・養成、5.地域の体制づくりの5つがあります。

地域生活支援拠点部会では、機能の充実を図るための検証及び検討を行っています。

前橋市地域生活支援拠点 イメージ図



* 令和7年度の活動 *

令和7年度は、以下の2つのワーキングの結果や実際の対応ケースの情報を共有し、課題の抽出や検討、今後強化していく必要のある機能について話し合いました。昨年度課題として挙げられていた事業の周知については、次回の「みんなのらいいふ」にて実施予定となっています。

ワーキング1（相談）

親なきあとも施設ではなく自宅での暮らしを希望される方に対してどのような支援ができるのか話し合いました。実際にご家族がいらっしゃる状況で一人暮らしを想像するのはとても難しいことです。相談支援専門員がご本人やご家族の気持ちに寄り添いながら、いつ何を準備していったらよいか具体的にお示ししていくことの重要性を再確認しています。

ワーキング2（緊急時の受入れ・対応）

緊急時に不安でいっぱいのご本人を安心安全に受け入れるための体制づくりについて話し合っています。なかでも、一度も事業所を利用したことが無い方や、感染症に罹患している疑いがある方の受入れには安全面でのハードルが高いことから、家族等が元気に動ける今の段階から、ご本人を知る人や事業所をできるだけ増やしておくよう各事業所等でも働きかけていくことになりました。



前橋市就労支援部会の活動報告

就労支援部会 — 前橋の“働く力”を支えるしくみ

就労支援部会は、前橋市における「働きたい人」と「受け入れたい企業や関係機関」をつなぐ、地域の中核的な協議体です。企業・学校・支援機関が集い、働くことに不安がある方や受け入れ側の悩みに寄り添いながら、“相談先がわかる・支援が届く”体制づくりを進めています。

部会では、●相談先の整理と情報提供、●支援機関の役割の可視化、●企業から寄せられる課題の共有、●特別支援学校や事業所との連携強化など、前橋市全体の「働く力」の基盤を支える取り組みを年間を通じて行っています。

■ 企業向け相談先フロー「みっけチャート」:

■ 障害者雇用に関する情報ページ（前橋市）:



～令和7年度の主な活動～

【結のWAプロジェクトWG】学校・企業・支援機関をつなぐ学びの機会

結のWAプロジェクトWGでは、特別支援学校での見学会と講習会を開催しました。見学会では授業内容や生徒の取り組み、作業工程を直接知る機会を提供しました。学校での学びが職場でどのように生かされるのか、企業と学校が互いの理解を深める場となり、参加者からは“採用や実習のイメージが具体的になった”という声が寄せられました。

また、講習会では企業3社が自社の実践を紹介し、支援機関の活用事例、特例子会社としての環境づくり、ダイバーシティの視点による職場改善など、現場でのリアルな取り組みが共有されました。こうした機会は企業の「最初の一步の不安」を和らげ、地域全体の支援力向上につながっています。



↑ 講演会の様子

【就労支援広報WG】企業へ“必要な情報を必要なタイミングで”届ける取り組み

就労支援広報WGでは、前橋商工会議所が配信するメールマガジン「糸都（いと）メール」を通じて、企業にとって有益な情報をわかりやすく発信しています。制度の更新情報、相談窓口の紹介、支援機関の活用方法、就労に向けた準備ポイント、特別支援学校との連携レポートなど、多岐にわたる内容を定期的に掲載しています。



メールマガジンで寄せられた企業からの声は部会内で共有され、次に必要とされる情報の検討にも活用されています。情報発信の循環が地域の支援力強化につながるという視点のもと、“必要な情報を必要な人へ”届ける取り組みを今後も継続していきます。

↑ メールマガジン校正中

就労支援部会は、地域の企業・学校・支援機関とともに
前橋市の「働きたい」を支える仕組みづくりを引き続き進めていきます！



前橋市こども部会の活動報告

こども部会では障害児を取り巻く環境について、日頃感じていることを各機関と共有しながら課題について検討してきました。

よりよい連携に繋げていく大切さを改めて感じました。

日頃感じていることや疑問に思っていることが共有でき共感してもらえて安心できました。顔の見える関係はいいな!と思いました。

<構成機関>

- ・こども支援課
こども発達支援センター
- ・教育支援課
特別支援教育室
- ・こども施設課
- ・障害福祉課
- ・基幹相談支援センター
- ・相談支援事業所
- ・児童発達支援センター

各機関で把握している課題について意見交換の時間を持てたことは大変有意義でした。

保護者支援や切れ目のない支援が必要であることを感じました。



今年度より、こども部会での意見を受け、研修等は児童発達支援センターが中心となり、開催しました。

【たんぽぽ学園】

【こどもサークル駒形つなぐ園】



11/29 に群馬県手をつなぐ育成会の江村会長より「未来の子どものために今、できること」と題し、「ぐんまちゃんあんしんノート」のお話をして頂きました。保護者や事業所の職員 35 名が参加し、我が子の将来の生活に向けた準備について学びました。

12/17 に市内の保育園所、こども園、児童発達支援事業所の保育士さんを対象に 10 名の参加者がたんぽぽ学園での療育体験と情報交換会を行いました。

1/19 は市内の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者を対象に「個別支援計画作成について」の研修を行いました。参加者からは「こどもの個別支援計画作成のポイントがわかった」、「様々な人の考えを聞くことができて気づきが多かった」等の感想を頂きました。



1/23 に茨城県言語聴覚士会の磯野会長をお招きし、「発達障害の診方と支援方法」をテーマとして、18 名にて研修交流会を行いました。

参加された方々の交流も深まり、「日頃、交流の場が少ないと感じていたので、勉強になる研修会と交流会の組み合わせがありがたかった」などのお声をたくさん頂戴いたしました。

昨年 9/13 には、こどもサークル全 15 ヶ所のお子様、保護者の方々、職員、ボランティアの学生の皆さん、就労支援事業所様や企業様のご協力を得て、総勢 500 名による納涼祭を開催しました。

9/26 はお子様に最適な療育をお選びいただけるように市内や近隣の相談支援専門員に向けた事業所説明会も行いました。

令和 8 年度も更に充実した研修ができるよう、こども部会で検討していきます。引き続き「医療的ケア児等支援連携推進会議」も開催していく予定です。



前橋市地域移行・地域定着部会の活動報告

何してるの？

地域移行・地域定着部会は、病院から地域での暮らしへ移る時のサポートや、地域での生活を安定して続けるための支援、そのほか精神保健福祉に関する市内の課題を共有し、より良い支援の在り方などを検討する部会です。

この部会には、市内の相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、医療機関、家族会など、さまざまな立場の支援者が参加しており、前橋市の地域生活支援に関わる状況等を多角的に把握しながら協議を行っています。

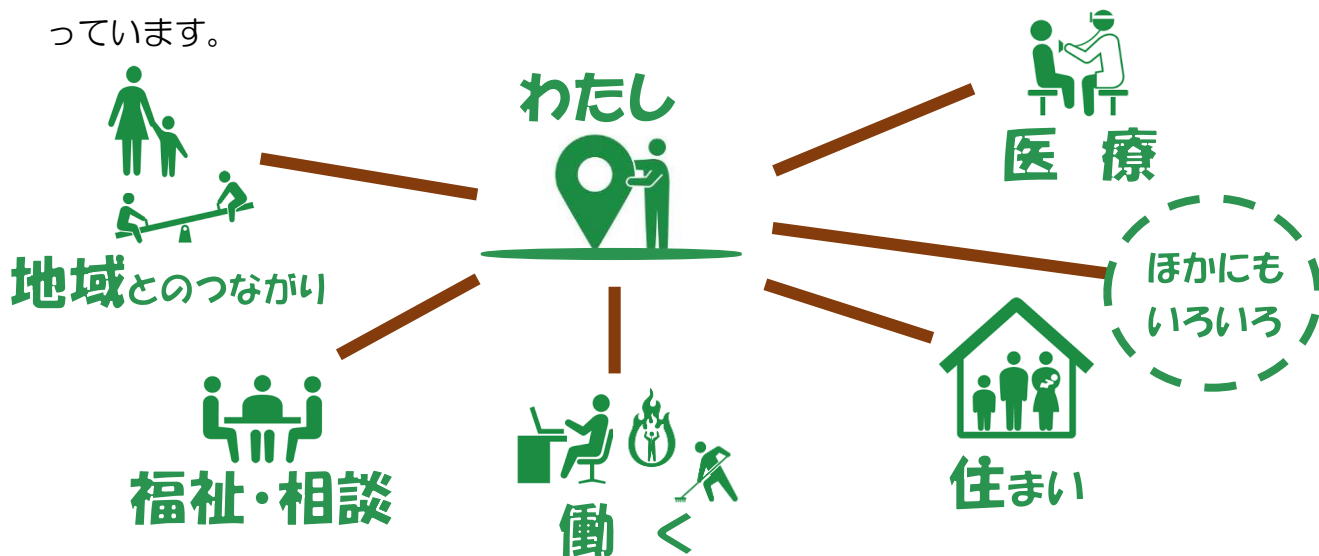
令和7年度の活動

- ・地域移行・地域定着支援の現状共有
- ・ピアサポーター研修の実施 市内4地区
- ・日常生活自立支援事業及び成年後見制度に関する学び合い
- ・支援や地域社会における課題やニーズ等の抽出 などなど

そもそも

にも包括とは？

「にも包括」という言葉を聞いたことはありますか？普段の生活ではあまり聞かない、馴染みない言葉だと思います。「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の略称で、精神障害の有無にかかわらず、誰もが地域で安心して暮らしていけるよう、医療・福祉・住まい就労・地域の助け合い・教育などをまとめて支える仕組みのことです。当部会では、にも包括に関しても、システム構築に向けた意見交換等を行っています。



精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの



前橋市手話施策部会の活動報告

令和7年度は、全国的に手話への関心が大きく高まった一年でした。新たに「手話に関する施策の推進に関する法律（手話施策推進法）」が成立し、「手話を大切にしよう」という社会の流れがさらに前進した年でもあります。また、日本で初めてデフリンピックが開催され、手話やろう文化に触れる機会が増えたことで、手話の魅力を実感する人が一段と増えました。

こうした追い風の中、前橋市でも手話への理解と認知が広がり、手話がより身近な存在になりつつあります。本コーナーでは、令和7年度に取り組んだ手話関連の活動の一部を、写真とともにご紹介します。

ー救急隊員「コミュニケーション力」をレベルアップ！ー

聞こえない方の緊急時にしっかり対応できるよう、今年も救急隊員向け手話研修を実施しました。

今年度は新たに「実践コース」を設け、「初級コース」と合わせた2段階制へリニューアル。基礎から応用へとステップアップできる学びの流れができ、より充実した研修に生まれ変わりました。

また、救急車の車内を再現した本格的な演習も行い、より実践的な技能の習得を目指しました。



救急車の車内で本格的な演習も行いました。頼もしいですね！

ー動画づくりも進行中！ー

救急隊員が必要な手話を動画で学べるよう、「よく使う25語+短い会話6つ」を収録した学習用動画を制作しました。現場で“ほんとうに使える”表現を厳選し、わかりやすさを重視して作成しています。

動画は前橋市公式YouTubeからご覧いただけます。



「手話の『単語』を覚えましょう（救急活動）」前橋市公式YouTube↑

ー子どもたちに広がる“手話の輪”ー

小中学生向けの手話講習会もこの夏に開催しました。初めての子でも安心して参加できるよう講師を増やし、フォロー体制もより充実。

ユーモアたっぷりの講師たちが明るい雰囲気教えてくれるため、子どもたちに大人気の講座となっています。



グループ学習で大盛り上がり！

ーまえばし手話フェスタ 2025 を開催ー

9月23日（火・祝）、K'BIX まえばし福祉会館で「手話フェスタ」を開催しました。

今年は、デフサッカー日本代表・松元卓巳選手をお迎えし、講演を行っていただきました。

「聞こえにくい」というハンデを力に変えて挑戦を続ける松元選手の前向きな言葉は、多くの参加者に勇気を届けるものでした。



手話サークルのみなさんが手話コーラスを披露。



松元選手と“ことばを使わない伝達ゲーム”に挑戦！



「令和8年度前橋市自立支援協議会」について

前橋市自立支援協議会では、「障害のある人が地域で普通に暮らせるまちづくり」を目指して、障害当事者団体や相談支援事業所、医療・保健関係者などが協議を行っています。 <<組織図案>>

全体会（年1～2回開催）

委託相談支援事業所やサービス事業所、医療・教育・就労などの関係機関が集まり、地域課題の共有や対策の協議を行います。

運営調整会議（毎月1回開催）

自立支援協議会会長、委託相談支援事業所、障害福祉課、保健予防課で協議会全体の運営状況を確認し、方向性を検討します。

定例会議（奇数月開催）

委託相談支援事業所や関係機関が集まり、相談事例の検討を行い、前橋市としての課題を分析します。

特定課題会議【専門部会】（毎月または随時開催）

自立支援協議会の委員や障害福祉課、保健予防課により、前橋市における分野別の課題について整理し、解決策を検討します。

地域生活支援拠点部会	就労支援部会	こども部会	療育ネットワーク推進会議 医療的ケア児等支援連携推進会議
手話施策検討部会	広報・啓発部会	地域移行・地域定着部会	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進のための協議の場

ワーキンググループ（随時開催）

部会で整理した課題について、具体的な解決策を専門的に検討します。

事業所紹介

令和7年度に開所した障害福祉サービス事業所（日中活動）を紹介します

サービス種類	事業名【申請者】	所在地	電話番号
就労継続支援（B型）	ONEPET前橋リリカ 【株式会社onelifeLAB】	〒371-0033 前橋市国領町二丁目14番1号1F	090-9837-6296
就労継続支援（B型）	遊Link 【株式会社 globeコーポレーション】	〒371-0804 前橋市六供町一丁目10番地3	070-3953-4639
就労継続支援（B型）	ぴえろ 【一般社団法人クラウン】	〒371-0104 前橋市富士見町時沢2810-2	070-8902-1875
就労移行支援	ウェルビー前橋駅北口センター 【ウェルビー株式会社】	〒371-0024 前橋市表町二丁目10番19号 グラン前橋 7階	027-289-4157
生活介護	生活介護 RIZING 【合同会社彪虎】	〒371-0023 前橋市本町二丁目9番12号	090-1267-0338
就労継続支援（B型）	キャリアカク前橋駅前オフィス 【株式会社アドバンスリテール】	〒371-0024 前橋市表町一丁目12番1号 セントラルビルB 2階	027-289-4206
就労継続支援（B型）	プレフルワーク前橋 【合同会社NGU】	〒371-0812 前橋市広瀬町三丁目2番9号	027-215-3882

編集後記

新緑が眩しく感じる季節となりましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？

昨年11月に開催されました「みんなのフェスタ」にスタッフとして、フェスタに初めて参加をさせていただきました。ステージ発表の様子や展示された作品を間近で感じることができ、いろいろな体験ブースもありとても楽しいイベントでした。ステージで発表するまでにはたくさんの練習をしてきたことと思いますし、作品もそれぞれとても素晴らしかったです。皆さんが頑張っている姿や楽しんでいる様子を見るだけで感動や笑顔をもらえました。スタッフとして多くの方々と交流ができたこととても有意義な経験でした。2026年度も「みんなのフェスタ」が開催される予定ですので、楽しさや感動や笑顔を共有できたらと思います。（萩原 文子）

今回は令和8年9月
1日に発行予定です

